

ひきセン 通信 2020年 第4号

新潟市ひきこもり相談支援センター

〒950-0082 新潟市中央区東万代町 9-1

新潟市万代市民会館 5F

☎025-278-8585 ✉info@n-hikikomori.org

新潟市ひきこもり相談支援センターは長期間自宅にひきこもっている方の回復と社会参加を目指して、相談支援、訪問支援、居場所等を実施する新潟市委託の支援機関です。

■今年の暑さはいかに

少し調べてみると、日本はこの100年で平均気温が3℃程度上昇したとか。

平均3℃って半端ない、と50年前の新潟県の気温を調べてみました。

1970年8月の最高気温、33.8℃

2019年8月の最高気温、39.2℃

まじっばい。

他の日を見ても30℃を越えている日数も増えているようで、それこそ平均気温は(横着などで)計算していませんが、不得意の暗算をしてみたところやはり上がっているようでした。



▲ひきセンのベランダから、
暑い日の新潟市を激写

私の幼少期はクーラーかけるのは贅沢とか言われたこともありましたが(そもそも家にクーラーありませんでしたが)、今は「夏の日中は外出を控えましょう」なんて言葉も盛んに聞かれるくらいだから、気候も時代も変わりゆくな、と感じております。

いずれにせよ、熱中症に注意してお過ごしください。(齋藤)

■B部会に参加してきました

新潟市ひきこもり相談支援センター(以下ひきセン)は、年数回参加する会議があります。その名も「B部会」。あやしくありません^^

ひきセンは、特に新潟市内(時に市外も)の関係機関と関わりながらご相談に対応させていただくことが多々あります。B部会はひきセン事業を受託する、ささえあいコミュニティ生活協同組合新潟の法人内にある相談機関が集まる定例会です。今回は三条地域若者サポートステーション、長岡地域若者サポートステーション(長岡サポステ)、就労支援事業所きまま舎、柏崎ワークステーションから職員が集まり、各機関の現状と課題を

共有しました。実際顔を合わせて話してみると、わかっているようで知らなかった、そんな発見もいくつかありました。ひきセンに相談に来られる方で、ずっとひきセンにだけ居たいという方はいません。例えば仕事、例えば居場所、例えば受診、等々ご本人の希望に応じた情報提供をさせていただくことも業務の一つです。ひきセン内で行う業務はもちろん、他機関との連携や情報収集も引き続き行っていきます。(齋藤)

■新職員が入職しました

皆さま初めまして。8月から、新潟市ひきこもり相談支援センターで支援コーディネーターとして、働かせていただくことになりました、佐藤優子です。私は、これまで様々な世代の方の、生活支援や就労支援に携わる仕事をしてまいりました。「一人では行動する勇気が出ないけど、誰かが一緒なら一歩を踏み出せそう」と思っている方々のお役に立ちたいと思っています。皆様にお会いできることを楽しみにしておりますので、どうぞよろしくお願い致します。(佐藤)

■新潟市ひきこもり相談支援センターとは
新潟市より2011年に受託しスタートした事業です。新潟市内にお住いのひきこもり当事者、家族、関係者等からご相談をお受けすることが可能です。相談、訪問等に係る費用は一切ありません。今の状況を何とかしたいけど、どこに相談したらよいかわからない、という方は一度ご連絡ください。

■お盆後の居場所

8月19日(水)14時の居場所は、さ、参加者ゼロ名でした。お墓参りに行ったり、親せきづきあいがあったりなかったりと、話題も豊富なタイミングかなあ、と想像していましたが、ゼロ。これはひきセン開所直後以来かもしれません。新型コロナウイルスやら、酷暑のせいもあるものと思っています。炎天下の中、1~2時間ばかり人としゃべりに出かけるという時期ではないのかもしれませんが。

どうしたものでしょう。

リモート居場所とかやれないかな、とちらりと考えたりしていますが、ニーズがあるくらいは調べたいところです。セキュリティ上の課題なんかもあるかもしれません。よく言われているスピード感、大事にしたいという気持ちはありますが、いやはや。

逆に、ちょっと人数が多いと居場所に参加するのに抵抗があった方は、今はチャンスです。お問い合わせいただければ、直近の居場所の参加人数や、雰囲気は口頭でお伝えできますので、よかったらご連絡ください。

(武居)

■家族会

8月下旬に家族会を実施します。今回は当事者や当事者家族の講話を聞く会です。直近半年でご相談のあった方で、当センターへの相談を本人に知らせているご家族様などに案内を郵送させていただきました。ご参加は完全予約制です。

家族会の模様は追って、ブログや紙面でお伝えしたいと思います。(武居)